

2022年6月23日
公益財団法人イオン環境財団

6月30日（木）千葉市小学校で環境教材を寄贈 持続可能な地域の実現を願い、地域の子どもたちに環境絵本等を寄贈

公益財団法人イオン環境財団は、6月30日（木）に、千葉市小学校で、環境教育の絵本等の寄贈式を執り行いますので、ご案内申し上げます。

当財団は、これまで、千葉市と連携して植樹や環境教育を継続実施してまいりました。本年は、子供向けのアントレプレナーシップ教育プログラムを開発しているほか、千葉市動物公園において、絶滅危惧種を含む動物観察のためのガイドブックを発行いたしました。

また、当財団の設立30年を契機に、当財団の創設者が事業の発展と環境保全の両立を目指した姿を描いた絵本を刊行いたしました。

この度、千葉市の政令指定都市移行30周年に際し、持続可能な社会の地域の実現を願い、地域の子どもたちが環境保全の大切さを学び感性を豊かにするため、絵本とガイドブックを寄贈します。

当財団は、今後も次世代にみどり豊かな自然環境を引き継ぐため、植樹活動をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時	2022年6月30日（水） 14:00～14:20		
場 所	千葉市立美浜打瀬小学校 アリーナ（住所：千葉市美浜区打瀬2-18-1）		
寄贈者	公益財団法人イオン環境財団		
寄贈先	千葉市教育委員会（配布先：千葉市内小学校108校 養護学校1校）		
寄贈物	絵本『岡田卓也のものがたり「町が生まれ 森が広がる」』 300冊 冊子「千葉市動物公園ガイドブック」 8000冊		
出席者	千葉市	市長 教育長	神谷 俊一 磯野 和美 きむらゆういち
絵本作家	公益財団法人イオン環境財団	名誉理事長	
	イオン株式会社	名誉会長相談役	岡田 卓也
	イオンリテール株式会社	社長	井出 武美

以上



「町が生まれ森が広がる」



「千葉市動物公園ガイドブック」

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

1990年「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立されました。

設立以来、国内外の多様なステークホルダーの皆さまと連携し、植樹を主な事業として環境活動に積極的に取り組む非営利団体への助成や、環境人材の育成を目指した環境教育など様々な活動を実施してきました。

今後は持続可能な地域の実現を目的に、各事業をさらに進化させ地域の皆さまと協働して、森づくりに加え、地域づくり、人づくりにも取り組み、新たな「イオンの里山」の構築を目指します。

＜イオン環境財団ホームページ <https://www.aeon.info/ef/>>

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。これまでに世界11か国で植樹を行い、イオン全体の累計植樹本数は1,241万本を越えました。（2022年2月末時点）

【千葉市での活動】

・2016年～2018年 植樹

千葉市と当財団は、2016年2月に「千葉市における森林整備に関する協定」を締結し3年計画で植樹を行いました。

2016年5月に、千葉市富田都市農業交流センターで第1回「千葉市植樹」を実施。熊谷前市長、地域の皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちなど、1,200名のボランティアがクヌギ、コナラ、山桜などの広葉樹8,000本の苗木を植樹しました。

2017年、2018年には、「泉自然公園」で植樹を実施。熊谷前市長、地域の皆さまやイオンチアーズクラブの子どもたちなど、1,800名のボランティアがクヌギ、コナラ、山桜などの広葉樹17,000本の苗木を植樹。「富田都市農業交流センター」と「泉自然公園」に、のべ3,000名の市民ボランティアが、合計25,000本を植樹しました。

・2021年 「千葉市アントレプレナーシップ教育コンソーシアム」設立に参加

2021年12月20日に、千葉市など産学官13団体が参加する「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム」を設立しました。これは、子どもの起業家精神を育む機会を創出し、将来の産業を担う人材の育成を目指すものです。当財団は、教育プログラムの開発に取り組んでおります。

・2022年 千葉市動物公園 ガイドブックの作成・園内の木々の整備

千葉市動物公園の改修に併せて、園内の木々の間伐を行ったほか、絶滅危惧種を含む動物観察のためのガイドブックを発行しました。